



高橋悦郎 議員

## 質問した事項

- ・大更駅周辺まちづくりについて
- ・[介護保険について]

## 西根病院をまちの中心部に

## 総合的判断で大更駅東側へ

**高橋議員** 花輪線の東西をつなぐ新たな幹線道路の実現は、本計画への地元住民の最大の関心事であり、強



現在の国保西根病院。「大更駅周辺にぎわい創出事業」の素案では、移転場所が駅東側と位置付けられています

**高橋議員** 提案されている「大更駅周辺にぎわい創出事業」の素案では、西根病院の移転場所が駅東側と位置付けられているが、この場所で本計画の原点である「大更中心部のにぎわい」をつくっていけるのか。

**市長** 大更駅東西エリアを連携することで、さらなるにぎわい創出になる見通しを立て、この計画をスタートさせた。中心部である西側は病院の環境としてふさわしいか、敷地の確保はどうか、ワークショップの意見などを総合的に判断し素案にのせたもので、本計画の原点に反するものではない。

## 幹線道路の整備を

**高橋議員** 花輪線の東西をつなぐ新たな幹線道路の実現は、本計画への地元住民の最大の関心事であり、強

**高橋議員** 提案されている「大更駅周辺にぎわい創出事業」の素案では、西根バイパスから国道282号につながる市道松子線は部分改良に位置付けられていて、全線拡幅改良は将来計画となつてゐる。全線拡幅改良を最優

い要望であった。しかし、素案では、西根バイパスから国道282号につながる市道松子線は部分改良に位置付けられていて、全線拡幅改良は将来計画となつてゐる。全線拡幅改良を最優

い。先課題と位置付けるべきだ。また、市道大更中央線から花輪線を横断し、国道282号につながる新路線についても要望があつたが、将来に可能性を残しておく位置付けて、実現性が見えな

**市長** 市道松子線の拡幅改良は重要視している。町なかの国道282号との接続は線形改良も視野に入れながら素案に盛り込んだ。今後、修正は可能と考えている。良好な環境整備に向けて、現時点では将来展望として可能性を残した。

## 事業の予算規模は

**高橋議員** この「にぎわい創出事業」の予算規模を伺う。現時点においては事業手法を検討中であり、具体的な数値をお知らせできる状況にない。



渡辺義光 議員

## 保健・医療・福祉の連携強化を

## 一体化の実現に向け施策を展開

**渡辺議員** 平成24年度から改定される第5期高齢者福祉計画における保健・医療・福祉の連携方策、介護予防から健康増進、生きがい、仲間づくり、生涯学習など「川上行政」へのシフト、支援の考え方を伺う。

**市長** 高齢者の生涯学習、スポーツ、趣味、仲間づくり活動など、教育委員会関係、市社会福祉協議会、老人クラブ、シルバー人材センターなどと連携し、総合的な支援について検討していきたい。

**渡辺議員** 「百尺竿頭一步を進める」努力で、関係課、機関の連携を強め、実現に向けて具体的に構想してほしい。高齢化率がピークになる2025年の人口推移とこれに対応した継続性ある計画策定の考えを伺う。

**市長** 一人暮らし、高齢者

**渡辺議員** 岩手の名の起源と伝えられる岩手森など、地域資源の新しい魅力発掘と不ツットワーク、周遊コース、祭り創出など、岩手山関連の利活用策を伺う。

**市長** 市の指定文化財を紹介する小冊子の刊行を検討している。市民の意向を聞き関係課などが連携し、宝の世帯が増加中である。平成32年の市の推計人口は、2万3679人、高齢者数は9700人、高齢化率41%と推計されている。適正なサービス供給に努める。

**渡辺議員** 大更地区に構想整備断念後の動向は

**グラウンドゴルフ場** 教育次長 既存の民間施設の利用方法について検討中で、24年4月から利活用で

いる。既存の民間施設の利用方法について検討中の活性化を進めていきたい。

**教育長** 生涯スポーツの環境づくりについては、施設整備などの環境整備に努めたい。

**教育長** 生涯スポーツの環境

づくりについては、施設

整備などの環境整備に努め

ていくよう促進する。

**生涯スポーツの環境整備に努めていきたいとの考え方を示されました（松尾総合運動公園）**







北口和男 議員

## 質問した事項

- ・企業誘致について
- ・除雪対策について
- ・〔上水道整備計画について〕
- ・〔下水道事業整備計画について〕



羽毛布団の製造が順調な(株)サンコーネイニング八幡平工場は、平成20年に田頭地内で操業が開始されました

**北口議員** 今年度の除雪重点対策の項目は何か

**北口議員** 昨年の年末年始の豪雪経験後、今年度の除雪重点対策を伺う。

**市長** 気象の事前予測と早期出動態勢の強化をすべき

**市長** 旧ニチコンデンドー株の空き工場に県外から1社が入居した。大震災以降、企業災害リスクへの関心が高まっている。当市の恵まれた立地環境を説明しながら、現在交渉を進めている企業もある。新たな企業誘致に向かって取り組んでいく。

**北口議員** 自治会単位の枝道除雪について、機械と支援措置も含めての検討はいかが。

**市長** 市管理道路はもとより、赤線などの生活道路は住宅や地域の状況に配慮して除雪を行っている。民間の宅地開発で団地を形成している私道については、公平、公正の観点から、除雪対応は困難と認識をしている。一方、協働によるまちづくり補助金は、除雪機械の燃料費、機械借り上げ料など、自治会単位への支援措置と認識している。

## 新規の企業誘致の現状は

## 立地環境の良さを企業に説明

**北口議員** 市後期計画には、「自然環境や高速交通網に恵まれた地域資源を活かした企業の立地環境の整備に努め、就労の場の確保を図る」とあるが、企業誘致や企業支援の現状と成果はどうか。

**市長** 平成20年度に3社を誘致したが、21年度はリーマンショックなどの影響により誘致した企業はなかつた。貸し工場については、22年度に県外企業が1社入居した。既に市内に誘致している企業の事業拡大に向

**市長** な活動で、今後も各種補助金や融資制度などの情報提供と支援を行いながら、雇用の拡大に努めたい。

**北口議員** 東日本大震災後の新規企業誘致活動はいかが。

**市長** 旧ニチコンデンドー株の空き工場に県外から1社が入居した。大震災以降、企業災害リスクへの関心が高まっている。当市の恵まれた立地環境を説明しながら、現在交渉を進めている企業もある。新たな企業誘致に向かって取り組んでいく。

**北口議員** 昨年の年末年始の豪雪経験後、今年度の除雪重点対策を伺う。

**市長** 気象の事前予測と早期出動態勢の強化をすべき

**高橋議員** 都市計画マスタープランについて、社会経済情勢の変化などによって、市では見直しの考え方を示しているが、東日本大震災のあつた3月11日後において再度の見直しが必要と思われるが、考えを伺う。

**市長** 震災の影響が今後の都市像に影響を及ぼすものとは考えられない。よって、見直しの考えは持ち合わせていないのが現状である。

**高橋議員** 3月11日の原発事故は、当市に大変影響していると思う。ホテル関係者の方々から、固定資産税

**産業部長** 3月の震災以降、かなりの落ち込みがあることは承知しており、今後は観光客の誘客に向け、補正予算などを組み、予算措置していく考えである。

**高橋議員** 今、大更のまちづくりの計画策定を進めて27の事業形態が提起されているが、そのワークショップで事業化の検討として、27の事業形態が提起されている。その真意を伺う。

**副市長** 一つの方向性を見

**高橋議員** 放射能汚染、この放射能による汚染救済策はどう講じる

**市長** 合併したことにより、有利な合併特例債や従前からある過疎債が使える。これらは対象期間が設定されおり、10年後には特例の交付税制度も段階的に廃止になる。財政の裏付けがあるうちに事業の進展を図らなければならない。

**高橋議員** 放射能汚染、この放射能による汚染救済策はどう講じる

**市長** 合併したことにより、有利な合併特例債や従

## 防災計画見直しの重点項目は

### 情報伝達手段などを改善

**小笠原壽男 議員**

質問した事項

- ・地域防災計画について
- ・協働のまちづくりと地域振興協議会の活動支援について



市内に189基整備されている防災行政無線は、緊急事態発生時の情報伝達手段として重要な役割を担っています

**小笠原議員** 地域防災計画は、大雨洪水災害などにどのように生かされたか。  
**市長** 緊急時には、計画に従い、職員の参集、市建設協同組合との応援協定に基づいた対応がなされている。

**小笠原議員** 防災計画の見

直し時期、重点項目は何か。  
**市長** 情報伝達手段、組織体制、各課の行動計画を重視しておらず、年度内に策定を行う。

**小笠原議員** 緊急事態発生時の防災行政無線の活用、情報伝達の手段は。

**小笠原議員** 協働のまちづくり事業の制度見直しの考え方ではないか。  
**市長** 協働のまちづくり事業では、自助、共助による活動機会が増え、地域住民の一体感が醸成されてきている。補助金交付要綱の補助対象者にNPO法人、市民団体などを加え、推進体制の整備、見直しを図った。

**小笠原議員** 地域振興協議会の連合組織が必要だ。

**市長** 各地域振興協議会の

**小笠原議員** 現在運用している防災行政無線は、有事の情報伝達手段として極めて重要な。施設のデジタル化は、平成28年度を目標に切り替えを行うが、地形、気象環境など総合的に勘案し、検討する。

**小笠原議員** 地域活動の担

事業展開に重点を置き、地域力を養う段階と考えている。定期的な研修機会を持つこと、それとも組織化がいい手育成のための研修機会を作るべきだ。

**市長** 市民が参加できる研修機会の情報を提供し、市で開催する研修会などの内容についても検討する。

**小笠原議員** 市では、地域振興協議会に地域振興計画の策定を求めているが、協議会のあり方や担うべき地域活動はどうあるべきと考えているか。

**市長** 地域振興協議会が一つの単位として、その地域課題や将来像を取りまとめてももらいたい。自治会単位では難しい課題や自治会を超えた地域活動を実施していく役割を担っていくことを期待している。

### 公募による選考などを検討

## 指定管理者選定に外部の委員を



西根老人憩の家でくつろぐ皆さん。当施設は4月以降も引き続き「合同会社七時雨」が指定管理者となります

**三浦議員** 指定管理者制度導入施設数と今後の導入予定施設、また、項目別の状況を伺う。

**市長** 導入施設は全部で52施設である。今後の予定施設は、社会福祉施設5つで、全て学童保育施設である。項目別では、スポーツ施設28、産業振興施設11、文教施設3、社会福祉施設10に分類される。

**三浦議員** 指定管理者の選定委員会のメンバーを伺う。

**市長** 部長級職員5人、課長級職員6人の計11人で構成している。

**三浦議員** 市の生活保護受給世帯数を伺う。

**市長** 144世帯である。

**三浦議員** 生活保護による不正受給はあるのか伺う。

**市長** 生活保護法に基づく徴収金は、平成22年度で2件175万円である。主な理由は、給与と不動産収入の未申告である。

**三浦議員** 市の生活保護受給世帯数を伺う。

**市長** 北上北部で1270頭と確定する。今後は、3地区獣友会の合併と、獣友会と連携して新会員確保の方策を検討する。



**三浦 侃 議員**

質問した事項

- ・指定管理者制度について
- ・生活保護について
- ・有害鳥獣捕獲と獣友会について

## 高齢化する獣友会員 今後の体制づくりは

### 地域振興協議会が担う地域活動とは



**三浦 侃 議員**

質問した事項

- ・指定管理者制度について
- ・生活保護について
- ・有害鳥獣捕獲と獣友会について





田中榮司夫 議員

# 市民の学校教育への最大要望は

# 児童・生徒の学力向上である

**教育委員長** 市の芸術文化の現状についての考えだとと思うが、先ごろ、市芸術祭が開催され、子どもたちの元気いっぱいの力作を拝見し、また、舞台発表では伝統芸能や各分野での演目を盛大に披露いただいた。こうした展示、発表の場がさ

## 市の芸術文化・造形 教育に対する考え方

**田中議員** 前向きを願つて  
いる市民が、今、学校教育  
(社会教育)に最も期待し  
ている要望は何であるのか、  
所感を伺いたい。

相の所  
術文化  
えだと  
芸術祭  
たちの  
を拝見  
では伝  
演目を  
た。こ  
場がさ

市芸術祭安代地区舞台発表で、小屋畠植え踊り・南部手踊りを披露する保存会の皆さん。（昨年10月30日・安代小学校体育館）

**田中議員** なかやま莊の陸上グラウンドは、今どのように活用されているのか。

らに発  
取り組  
**田中議員**

**貢** 市の児童・生徒  
教育は十分なされて  
思うが、臆する点は  
か伺いたい。

**教育長** 人間性と創造性を備えた人間の育成は、美術教育（造形）の狙いである。しかし、教育課程での時間数削減、指導教員の不足などが痛手となっているが、

県や教育事務所に強力に働きかけ、指導体制の充実を図っている。

**大和田議員** 次年度も影響する産業への支援や対策は、  
**市長** 農業では、農畜産物の放射性物質の検査など、関係団体と協議し、農業振興に支障のないよう万全を尽くしたい。観光では、震災対策事業を検証し、各種事業を魅力的にし、キャンペーンを通じ安全、安心をPRして観光客の増加を図りたい。

かった。県の觀光課や農協を通じ情報収集を図り、行政として意見を述べる機会を設けるようお願いしたい。  
**副市長** 観光面は市だけの問題ではなく、調査し、賠償請求をしていくと県企画総務部から示されている。  
**大和田議員** 市をアピールするフェアなどの開催で、市内産物の安全性と観光の誘客を含め、姉妹都市・宮古市のPRの発信を新年度予算で取り組めないか。  
**市長** 機会を通じてアピールしたい。支援という観点からも宮古市と連携し、効

**大和田議員** 被災地のがれき撤去と各支援の協力は、果が上がるよう考えたい。新年度も継続する。支援のあり方は銳意検討したい。

**市長** 補正予算で計上し、一般会計、国保会計の新年度予算編成の見解は。

**大和田議員** 前述を含め、市長 重点課題の子育て、教育、市民生活や総合計画促進、議員指摘の産業振興や雇用創出の行政目的を達成すべく、職員の英知を結集し、編成に努めたい。

一方、国保会計では、税収の減少で厳しい状況にあ

新編 蘇東坡全集 卷之三

昨年、埼玉県の道の駅・川口安行で行われた観光物産展。  
八幡平市産の安全・安心な野菜などを販売、PRしました

## 重点課題解決と行政目的達成を

## 震災影響と予算編成の見解は



大和田順一 議員

## 柏台の下水処理場と 今後の排水対策は

り、財源不足額は一般会計から繰り入れするとともに、税率改正も視野に入れ、健全な財政運営に努めたい。

の調査および予定は。また、  
処理場の調査と対策は。